

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業の推進	個別事業 掲載No	都 — 1
-----	----------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 三鷹駅南口中央通り東地区における再開発事業が、三鷹市の玄関口のシンボルとして地区の活性化の拠点となるよう、商業施設や広場空間の配置、駐車場・駐輪場の確保等について、関係権利者やUR都市機構と連携し検討を進める。 高度利用地区、市街地再開発事業、地区計画等について検討し、関係機関と協議・調整を図るとともに、都市計画決定に向けて関係地権者やUR都市機構との合意形成を図る。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 再開発協議会の勉強会への参加（総会1回、勉強会11回、部会11回） 事業スキームの構築（施設計画の検討、権利者合意形成） 関係機関との協議、調整 ・都市計画作業（都市計画手続きの準備、図書の作成） 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> 高度利用地区、市街地再開発事業等の都市計画図書の作成 											

中間評価	上半期の実績・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 再開発協議会の勉強会に地権者として参加し、関係権利者やUR都市機構と市街地再開発事業に向けて、商業施設の管理運営方式や駐車場の配置、広場空間の活用方法など分棟方式による施設計画の検討を進めている。 都市計画手続きに先立ち、面的なまちづくりに係る課題整理に取り組む必要がある。 											
	事業評価審査会特記意見	<p>政策的に取り組む課題とする。</p> <p>政策会議 評価・意見等</p>											
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 再開発協議会の勉強会等への参加（総会1回、勉強会11回、視察2回） 事業スキームの構築に向けた検討の実施（施設計画の検討、地権者の合意形成） 関係機関との協議、調整（東京都、交通管理者等） 																													
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																		
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> 再開発協議会による勉強会が開催され、施設計画案や商業施設の所有形態や管理運営方式などについて検討を行ったほか、先行事例の検証や現地視察が実施された。 市は、関係権利者やUR都市機構とともに分棟方式による施設計画の検討を行った。 施設計画に係る課題を把握するため、東京都や交通管理者等と協議・調整を行った。 																													
	事業の総括（主管課）	<p>再開発協議会では、商業施設の所有形態や管理運営方法の検討を深めるため、先行事例の検証や視察を行った。</p> <p>市は、地権者として協議会に参加し、関係権利者やUR都市機構とともに市街地再開発事業に向けて分棟方式による施設計画の検討を行うとともに、関係権利者との協議・調整を進めたが、合意形成に時間を要しており、都市計画作業までには至らなかった。</p> <p>このほか、市は、社会情勢の変化などを踏まえ、開発と保全の均衡を保ちつつ回遊性とにぎわいを創出し、商業の中心地として成熟した都市にふさわしい質的向上を図るため、三鷹駅前地区再開発基本計画2022の策定に向けた取り組みを行った。</p>																													
	事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">予算 執行</td> <td colspan="2">26年度実績</td> <td colspan="2">27年度6月補正</td> <td colspan="2">27年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>2,048千円</td> <td>405,789千円</td> <td>405,789千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>1千円</td> <td></td> <td>402,473千円</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>0.0%</td> <td></td> <td>99.2%</td> </tr> </table>												予算 執行	26年度実績		27年度6月補正		27年度実績		予算額	2,048千円	405,789千円	405,789千円	決算額	1千円		402,473千円	執行率(%)	0.0%	
予算 執行	26年度実績		27年度6月補正		27年度実績																										
	予算額	2,048千円	405,789千円	405,789千円																											
	決算額	1千円		402,473千円																											
	執行率(%)	0.0%		99.2%																											
主管課評価	3	事業評価審査会評価	3	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																											

平成27年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	三鷹駅南口西側中央地区再開発事業共同ビル建設の支援	個別事業 掲載No	都 — 2
-----	---------------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 平成19年に関係権利者による再開発組合が発足し、民間主体による共同ビル建設の事業化に取り組んでいる。市は、再開発組合の各種会合にオブザーバーとして出席するとともに、関係者全員の同意を踏まえて市道の一部廃止の手続きを進めるとともに、総合設計制度やまちづくり条例・開発行為等について指導、助言を行い、円滑な事業推進を支援する。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種会合への参加（総会1回、検討会11回） 総合設計制度やまちづくり条例、開発行為等についての指導、助言 市道の一部廃止に係る調整・手続き、決裁を行う 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	●	各種会合への参加											●
●	開発行為等の指導、助言											●	
●	市道の一部廃止に係る調整・手続き											●	
事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> 市道の一部廃止に係る手続きを進める。 共同ビル化を推進し、建築物の不燃化とともに中心市街地の活性化を図る。 												

中間評価	上半期の実績・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 市道第14号線の一部廃止に向けた手続きを進めるとともに、閉鎖管理に伴う調整を行った。 事業化に伴い、事業者と地元商店会との協議・調整が進められている。 事業化に伴い、駐輪場の整備とエスカレーター維持管理について協議・調整が必要である。 											
	事業評価審査会特記意見	政策会議 評価・意見等											
	主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 総会（2回）、検討会（1回）、このほか地権者により理事会が行われた。 地元商店会と事業者による意見交換会の開催（1回） 総合設計制度やまちづくり条例、開発行為等についての指導・助言、市道の一部廃止手続き、景観審議会・建築審査会の開催 																										
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月															
	○	○総会											○															
	○	○景観審議会											○															
	○	○意見交換会											○															
○	○市道の一部廃止手続き											○																
事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> 市は、市道第14号線の一部廃止手続きを行い、事業の進展を図った。 地元商店会からの要請を踏まえ、地域振興の観点から商店会と事業者による意見交換会を開催するなど、共同ビル化の推進に向けた調整を行った。 																											
事業の総括（主管課）	<p>市道第14号線（通称赤鳥居通り）の代替機能の確保と関係権利者の全員合意が図られたことから、市は、同地区の再開発事業を推進するため、市道第14号線の一部廃止手続きを行った。また、事業地内では解体工事や仮設建物の建築が進められた。</p> <p>市は、景観審議会や景観アドバイザー協議会などを通じて、本事業が周辺の景観や環境に配慮した計画となるよう調整を図るとともに、総合設計、まちづくり条例、開発指導等について指導・助言を行った。今後も引き続き、本事業が地域の活性化に寄与する事業となるよう事業者との調整を図る。</p>																											
事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">予算執行</td> <td>26年度実績</td> <td>27年度6月補正</td> <td>27年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>0千円</td> <td></td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td> <td>0.0%</td> <td></td> <td>0.0%</td> </tr> </table>												予算執行	26年度実績	27年度6月補正	27年度実績	予算額	0千円	0千円	0千円	決算額	0千円		0千円	執行率（%）	0.0%		0.0%
予算執行	26年度実績	27年度6月補正	27年度実績																									
	予算額	0千円	0千円	0千円																								
	決算額	0千円		0千円																								
執行率（%）	0.0%		0.0%																									
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																								

平成27年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	東京外かく環状道路に関する対応の推進	個別事業 掲載No	都 — 3
-----	--------------------	--------------	-------

当初計画	【事業概要】 ・東京外かく環状道路事業の進め方について、国と都がまとめた「対応の方針」が確実に実行されるよう国と都に要請していく。 ・平成26年度に策定した「北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップでいただいたご意見に対する三鷹市の基本的な考え方」を段階的かつ計画的に実施するため、「北野の里（仮称）まちづくり方針」を策定する。 ・外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会（以下、「協議会」という。）を地元住民等との協働により運営し、地域の交通安全対策及び防犯対策を推進する。 ・都市農地保全に向けた実証実験の実施を継続する。 【事業量】 ・助言者会議3回、庁内対策連絡会議3回、周辺都市計画道路の事業化に向けた調整、実証実験の実施	
	スケジュール	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
	事業の成果 (目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の運営・・・① ・北野の里（仮称）まちづくり方針の策定・・・② ・代替農地の確保に向けた調整、実証実験の継続・・・③ ①～③により、外環事業の対応を推進する。

中間評価	上半期の実績・課題等	(実績) ・外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会の運営 ・北野の里（仮称）まちづくり方針の検討 ・実証実験の契約締結 (課題) ・機能補償道路の線形、整備、管理について ・周辺都市計画道路の整備の進捗状況について		
	事業評価審査会特記意見	蓋かけ上部空間の整備等については、市費負担額の見込みも立てつつ、引き続き、財政負担が軽減されるよう国等と丁寧に協議を進めることが望ましい。	政策会議 評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。 外環の工事状況については、広報みたか等で広く市民に周知すること。
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1

事後評価	実績	①外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会の運営 ②北野の里（仮称）まちづくり方針の策定 ③代替農地の確保に向けた調整、実証実験の継続			
	スケジュール	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月			
	事業の成果 (実績)	①外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会を3回開催 ②まちづくり方針の策定に向け、庁内対策連絡会議を2回、助言者会議を1回開催 ③代替農地の確保に向けた調整を行い、実証実験を継続			
	事業の総括 (主管課)	外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会を地元住民との協働により運営した。連絡協議会は3回開催し、地域住民及び関係機関等とともに現地を確認し、安全対策・防犯対策を検討した。住区や町会等で説明し、またホームページ等でご意見をいただき、まちづくり方針を策定した。また、代替農地の確保に向けた調整を行い、実証実験を(株)三鷹ファームとともにいった。			
	事業評価審査会 評価・意見等	予算執行	26年度実績	27年度6月補正	27年度実績
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）	

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	災害に強い下水道の整備及び下水道施設の長寿命化等の推進	個別事業 掲載No	都 — 4
-----	-----------------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 集中豪雨による都市型水害に対応するため、中仙川改修事業の実施や貯留管等の整備を推進する。また、長寿命化及び地震対策事業を統合した「下水道再生計画」に基づき、下水道施設の改築及び耐震化を行い、安全安心な生活環境の確保に努める。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市型水害対策事業（中仙川改修事業、貯留管等230mの整備） 下水道施設の長寿命化事業（工事：東部水再生センター、実施設計：管路） 下水道施設の地震対策事業（工事：コミュニティ・センター2箇所、井の頭ポンプ場、実施設計：東部水再生センター） 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> 集中豪雨による都市型水害対策の推進 下水道施設の改築 震災時での下水道機能の確保 											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>貯留管等整備などの都市型水害事業、東部水再生センターの長寿命化事業及びコミュニティ・センター2箇所、井の頭ポンプ場、東部水再生センター実施設計等の地震対策事業は、順調に進捗している。一方で、管路施設の長寿命化事業については、調査の結果、既存の状態が良く事業量が減になったことから、職員が実施設計を行うため、実施設計の委託は行わないこととした。</p> <p>平成26年6月の豪雨による水害被害の状況を踏まえ、引き続き、国、東京都及び調布市と連携していく。</p>										
	事業評価審査会特記意見	政策会議 評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。									
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする							

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 集中豪雨による都市型水害対策の推進 下水道施設の改築 震災時での下水道機能の確保 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（実績）	<p>集中豪雨による都市型水害に対応するため、中原地区において中仙川改修事業に着手し、井の頭地区に貯留管等の整備236mに取り組んだ。また、「三鷹市下水道再生計画」に基づき、長寿命化事業として、東部水再生センター監視制御設備更新工事に着手した。地震対策事業としては、井の頭ポンプ場耐震補強工事、防災拠点（井口コミュニティ・センター、大沢コミュニティ・センター）周辺の下水道施設の耐震化工事及び今後耐震化予定施設の実施設計を行った。</p>											
	事業の総括（主管課）	<p>「三鷹市下水道再生計画」に基づき、長寿命化及び地震対策事業を実施した。管路施設の長寿命化事業については、調査の結果、既存の状態が良く事業量が減になったことから、実施設計の委託は行わず、職員が設計し、経費の削減を図った。また、中仙川改修事業の着手がやや遅れたものの、予定どおり都市型水害対策事業を実施した。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等	予算執行	26年度実績				27年度6月補正				27年度実績		
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）									
		予算額	226,385千円	377,538千円	377,538千円	決算額	192,329千円		297,170千円	執行率（%）	85.0%		78.7%

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	土地利用総合計画2022の改定及び用途地域等の見直しの方針の策定	個別事業掲載No	都 — 5
-----	----------------------------------	----------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 第4次基本計画第1次改定にあわせて、土地利用総合計画2022の改定を行う。用途地域等の見直しの方針を策定し、用途地域等見直し素案を作成する。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画審議会への報告・諮問（土地利用総合計画、用途地域等の見直しの方針） まちづくり懇談会等基本計画にあわせた計画改定の取り組み（土地利用総合計画） 用途地域等見直し素案作成（東京外かく環状道路周辺、東八道路延伸部分等） 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<p>●都市計画審議会 ●都市計画審議会 ●都市計画審議会 ●</p> <p>土地利用総合計画2022改定 用途地域等の見直しの方針策定 用途地域等見直し素案作成</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 土地利用総合計画2022改定の基本的な考え方の作成 用途地域等の見直し方針の検討 											
	事業評価審査会特記意見	政策会議評価・意見等	<p>重点的に取り組む課題とする。地域の方向性の熟度が高まったエリアから、順次用途地域の変更を進めることが望ましい。</p>										
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 「土地利用総合計画2022（第1次改定）」について、市民意見を反映するとともに、都市計画審議会等の議論をふまえて策定 「三鷹市用途地域等の見直し方針」について、庁内プロジェクトや都市計画審議会等の議論をふまえて策定 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> 社会状況等の変化などに対応した今後の土地利用の方針やまちづくりの課題解決の方向性を具体的に示した「土地利用総合計画2022（第1次改定）」を策定した。 用途地域等の見直しの考え方を土地利用における課題ごとに整理し、見直しの進め方を具体的に示した「三鷹市用途地域等の見直し方針」を策定した。 											
	事業の総括（主管課）	<p>第4次基本計画（第1次改定）や個別計画等との整合を図りながら、各事業の進捗等を踏まえ、まちづくり懇談会、まちづくりディスカッション、パブリックコメントなどの意見や都市計画審議会での議論を反映し、「土地利用総合計画2022（第1次改定）」を策定した。</p> <p>「用途地域等の見直し方針」は、用途地域等検討プロジェクトや都市計画審議会での議論を反映し策定した。今後、本方針に基づき、用途地域等の見直しに取り組んでいく。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等	予算執行	26年度実績	27年度6月補正	27年度実績								

事業評価審査会評価・意見等	予算額	3,240千円	6,480千円	6,480千円
	決算額	2,678千円		2,700千円
	執行率(%)	82.7%		41.7%

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）								
-------	---	-----------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	三鷹市公共施設等総合管理計画の策定に向けた取り組み	個別事業 掲載No	都 — 6
-----	---------------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 市が保有する建物・道路・橋りょう・下水道・下水処理施設を含む公共施設を対象に、「三鷹市公共施設等総合管理計画」を平成28年度に策定する。 平成27年度は、既存の個別施設計画をもとに現状分析を行うとともに、中長期的な維持管理コストの試算・分析を行い、公共施設等の管理に関する基本的な方針・方策の検討を行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフラを含む対象施設の総量の把握 ・既存の個別施設計画の分析 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果 (目標)	三鷹市公共施設等総合管理計画の策定に取り組む。											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>庁内関係部署に、計画策定にあたっての基本的な考え方に関する説明を2回実施した。また、委託に向け仕様書の策定など入札に向けた準備を行った。 8月に開催された「新地方会計制度検討チーム」において、固定資産台帳の策定と本計画策定が密接に関連するため、連携して計画策定を推進していくことを確認した。今後、更に関連部署と連携した取り組みが必要である。</p>											
	事業評価 審査会 特記意見	<p>政策的に取り組み課題とする。</p> <p>政策会議 評価・意見等</p>											
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<p>固定資産台帳の整備と連携し三鷹市公共施設等総合管理計画の対象施設を洗い出すとともに、これまで蓄積した基礎データの整理を行った。データ整理と併せて、既存の個別施設計画等の内容を踏まえながら、施設の管理に関する基本的な考え方の検討を行った。</p>																										
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月															
	事業の成果 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産台帳整備と連携した対象施設の洗い出し・基礎データの整理 ・新地方会計制度検討ワーキングチーム開催 3回 ・対象施設の管理に関する基本的な考え方の検討 																										
	事業の総括 (主管課)	<p>道路、下水道等を含む市が保有する公共施設等について、対象施設の洗い出しを行うとともに、基礎データの整理を固定資産台帳の整備と連携しつつ実施した。併せて、既存の個別施設計画の内容を踏まえながら、施設の管理に関する基本的な考え方の検討を行った。</p>																										
	事業評価 審査会 評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">予算 執行</td> <td>26年度実績</td> <td>27年度6月補正</td> <td>27年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>0千円</td> <td>7,000千円</td> <td>7,000千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>0千円</td> <td></td> <td>6,912千円</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>0.0%</td> <td></td> <td>98.7%</td> </tr> </table>												予算 執行	26年度実績	27年度6月補正	27年度実績	予算額	0千円	7,000千円	7,000千円	決算額	0千円		6,912千円	執行率(%)	0.0%	
予算 執行	26年度実績	27年度6月補正	27年度実績																									
	予算額	0千円	7,000千円	7,000千円																								
	決算額	0千円		6,912千円																								
	執行率(%)	0.0%		98.7%																								
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)																								

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	三鷹台駅前周辺地区のまちづくりの推進（市道第135号線の整備）	個別事業掲載No	都 — 7②
-----	---------------------------------	----------	--------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 平成17年10月に策定した「市道第135号線緊急整備方針」に基づき、三鷹台駅前周辺地域（三鷹台駅前交番～立教女学院区間、延長約232m）について、バリアフリーに配慮した歩行空間の整備を行う。また、安全で快適な歩行空間の確保・良好な都市空間の創出・都市防災機能の強化を目的に、電線類の地中化等に取り組む。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地取得面積22.22㎡、累計用地取得面積523.33㎡ ・電線共同溝整備工事99m ・街築整備工事99m 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得率100% ・電線共同溝整備率58.4% ・街築整備率58.5% 											

中間評価	上半期の実績・課題等	公益財団法人東京都道路整備保全公社と整備事業の委託に関する平成27年度協定を締結するとともに、工事発注準備（積算、設計審査等）を進めた。入札・工事業者決定後、引き続き工事施工完了を目指す。										
	事業評価審査会特記意見		政策会議評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。								
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする							

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得面積22.22㎡、累計用地取得面積523.33㎡ ・電線共同溝整備工事99m ・街築整備工事99m 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得率100% ・電線共同溝整備率58.4% ・街築整備率58.5% 											
	事業の総括（主管課）	<p>用地取得率については、100%を達成した。</p> <p>また、電線共同溝及び街築等の整備については、各関係機関と工程調整を図るとともに近隣要望等に適切に対応しながら取り組み、計画どおり完了した。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等		予算執行		26年度実績	27年度6月補正	27年度実績						
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上	1 計画どおり	2 計画の7割未満	3 その他（取組方針の変更等）					

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	みたかバスネットの見直しの検討	個別事業 掲載No	都 — 8
-----	-----------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 既存コミュニティバスの利用状況等の現状を踏まえ、地域公共交通活性化協議会で協議して路線バスとの連携を図り、より利便性の高いバスネットの検討を進める。あわせて、新川防災公園・多機能複合施設（仮称）や杏林大学井の頭キャンパス、調布飛行場へのアクセス等の検討も進める。 コミュニティバス事業基本方針に基づく第二期見直し計画の策定に必要となる、既存運行ルート周辺の交通量調査を行う。</p> <p>【事業量】 コミュニティバス事業基本方針に基づく第二期見直し計画の策定 交通量調査（市内10箇所程度） 交通管理者等関係機関との協議</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<p>見直し計画草案の策定 → 見直し計画素案の検討・策定 → 見直し計画案の検討・策定 → 確定</p> <p>交通量調査</p> <p>関係機関との調整</p> <p>活性化協議会 ●</p> <p>活性化協議会 ●</p> <p>活性化協議会 ●</p>											
事業の成果（目標）	<p>・コミュニティバス事業基本方針に基づく第二期見直し計画の策定</p>												

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>コミュニティバス事業基本方針に基づく第二期見直し計画については、たたき台を第1回三鷹市地域公共交通活性化協議会に報告し、協議を行った。専門的な見地から検討する必要があることから専門部会を設置した。 見直し計画策定にあたっては、交通管理者やバス事業者等の関係機関とも協議を進めていく必要がある。 また、杏林大学井の頭キャンパス開校に向けて、杏林学園及びバス事業者と連携し、路線バスを中心とした公共交通対策の検討を行った。</p>											
	事業評価審査会特記意見	<p>政策的にに取り組む課題とする。 杏林大学井の頭キャンパス開設に伴う小田急バスの増便等については、準備期間もあるので、平成28年3月中から実施・開通するよう調整すること。</p>											
	政策会議評価・意見等	<p>重点的に取り組む 1 2 3</p>											
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする									

事後評価	実績	<p>・地域公共交通活性化協議会での協議や市民意見などを反映したコミュニティバス事業基本方針に基づく第二期見直し計画の策定 ・交通量調査の実施（市内7カ所11日分相当） ・交通管理者（三鷹警察署交通規制係）との協議の実施</p>																										
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月															
	事業の成果（実績）	<p>見直し計画（たたき台）の検討 → 見直し計画（素案）の検討・協議 → 見直し計画（案）の検討・協議 → 見直し計画の確定 ●</p> <p>●活性化協議会 ●専門部会 ●活性化協議会 ●活性化協議会 ●</p> <p>パブリックコメントの実施 ● ●交通量調査 ●活性化協議会</p>																										
	事業の総括（主管課）	<p>・コミュニティバス事業基本方針に基づく第二期見直し計画の策定し、今後のコミュニティバスの見直しの方向性を確定するとともに、様々な公共交通の課題解決の方策を示した。</p>																										
	事業評価審査会評価・意見等	<p>「コミュニティバス事業基本方針に基づく第二期見直し計画」の策定にあたり、市民の意見を広く反映させるため、パブリックコメントを実施し、年3回の地域公共交通活性化協議会及び1回の専門部会で検討・協議を行った。見直し計画の策定及び計画の実施に必要な交通量調査を市内7カ所において行った。 また、杏林大学井の頭キャンパス開校に向けて杏林学園及びバス事業者と調整を行い、3月28日からのバス事業者による杏林大学井の頭キャンパスまでの路線の延長など、路線バスを中心とした公共交通対策を実施した。</p>																										
事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">予算執行</td> <td>26年度実績</td> <td>27年度6月補正</td> <td>27年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>3,124千円</td> <td>3,419千円</td> <td>3,419千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>2,447千円</td> <td></td> <td>3,098千円</td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td> <td>78.3%</td> <td></td> <td>90.6%</td> </tr> </table>												予算執行	26年度実績	27年度6月補正	27年度実績	予算額	3,124千円	3,419千円	3,419千円	決算額	2,447千円		3,098千円	執行率（%）	78.3%		90.6%
予算執行	26年度実績	27年度6月補正	27年度実績																									
	予算額	3,124千円	3,419千円	3,419千円																								
	決算額	2,447千円		3,098千円																								
執行率（%）	78.3%		90.6%																									
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																								

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	サイクルシェア事業に向けた取り組み	個別事業 掲載No	都 — 9
-----	-------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 杏林大学井の頭キャンパスが平成28年4月に開校することに伴い、通学・通勤のため、多くの学生等が三鷹駅などの鉄道駅から自転車を利用することが想定される。しかしながら新たな駐輪場を整備することは困難なため、既存の駐輪場をより効率的に活用する仕組みとしてサイクルシェアの社会実験を平成28年度に実施する。この社会実験に先駆けて平成27年10月頃にミニ実験を実施し、社会実験に向けて課題を整理する。</p> <p>【事業量】 ミニ実験の規模：参加人数20名程度、自転車台数20台程度 社会実験の規模：参加人数160名程度、自転車台数100台程度</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果(目標)	平成28年度に実施する社会実験に先駆けて、ミニ実験を実施する。得られたデータ等により課題を抽出、整理を行うとともに、これに基づいて内容を定めた社会実験の協定を杏林大学と締結し、ポート等の整備、事前周知及び利用者募集等の準備を行う。											

中間評価	上半期の実績・課題等	ミニ実験実施の準備として株式会社まちづくり三鷹と委託契約を結び、使用する駐輪場及び自転車の整備・管理・運営方法並びにアンケートで実施する調査方法について検討した。また、杏林大学と学生実験参加者の抽出・選定方法等の内容についての調整を図った。スムーズにミニ実験が行われ、有効な実験データが得られるように、参加者への理解と協力を求めていく必要がある。											
	事業評価審査会特記意見	政策会議 評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。										
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> ミニ実験の実施（1回、参加者数：市民10名、学生5名、市職員10名） 社会実験の準備（ミニ実験の課題整理、覚書締結、ポート等整備） 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果(実績)	ミニ実験の実施により、参加者の特性把握、募集のスキーム及び雨の日対策などが重要であることを確認したことにより、社会実験の円滑な着手につなげることが可能となった。											
	事業の総括(主管課)	社会実験に先駆けてミニ実験を実施し、課題等の抽出整理を行い、サイクルシェア事業社会実験計画書に反映させた。さらに、この社会実験計画書に基づいて社会実験に向けたポートの整備等の準備を行い、実験参加者の募集を開始した。また、杏林学園と覚書を締結し、社会実験を協働して実施することとした。											
	事業評価審査会評価・意見等	予算執行	26年度実績	27年度6月補正	27年度実績								

予算額	0千円	9,800千円	11,300千円
決算額	0千円		9,547千円
執行率(%)	0.0%		84.5%

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）								
-------	---	-----------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	三鷹駅南口ペDESTリアンデッキの点検	個別事業 掲載No	都 — 10
-----	---------------------	--------------	--------

当初計画	【事業概要】 三鷹駅ペDESTリアンデッキは、供用開始から20年以上が経過しており、不具合の発生が年々増加している。デッキを市民が安心して快適に利用できるように、適切な維持管理や改修工事に向けて点検調査をする。 【事業量】 本体構造調査（夜間調査）、調査結果報告書 調査項目：外観近接目視、点検孔点検
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ● → 契約事務 ● → 調査業務
	事業の成果 (目標) 点検調査結果をもとに、デッキの長寿命化に伴う維持管理及び改修工事を検討する。

中間評価	上半期の 実績・課題等 委託業務の契約締結が完了し「業務着手」している。 点検調査開始後、緊急修繕を行う必要性が高いと判断された箇所等が発見された場合は、デッキ利用者の安全確保及び快適利用の観点から本年度予算での対応を検討する。
	事業評価 審査会 特記意見 改修にあたっては、道路区域の変更などによる財源確保をした上で、事業執行を図ることが望ましい。 政策会議 評価・意見等 重点的に取り組む課題とする。
	主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績 ・三鷹駅南口ペDESTリアンデッキの健全性を確認する点検・調査を行い、長寿命化工事に必要な資料を作成 ・外観近接目視、点検口からの点検により調査を実施 ・点検口から確認できない箇所は、ファイバーカメラでの調査を実施
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ● 契約事務 ● 調査業務
	事業の成果 (実績) 三鷹駅南口ペDESTリアンデッキの長寿命化のためには、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい箇所が見つかったため、改修工事が必要であることを確認した。
	事業の総括 (主管課) 点検の結果、緊急的に修繕等が必要な箇所は見つからなかったが、全体的に経年劣化が見受けられ、予防保全の観点から早急に一定の措置を行う必要がある。 なお、今後想定される改修工事は、大型構造物における補修・補強工事の特殊性として、着工後に判明する実情に合わせた設計変更を行い、工事を行うことが一般的な施工方法となる。
	事業評価 審査会 評価・意見等 予算 執行 26年度実績 27年度6月補正 27年度実績 予算額 0千円 10,000千円 8,639千円 決算額 0千円 4,288千円 執行率(%) 0.0% 49.6%
主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)	

平成27年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		都市計画道路整備の促進（3・4・13号（牟礼地区））										個別事業 掲載No	都 — 11①			
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 三鷹都市計画道路3・4・13号（牟礼）は、連雀通り（都道134号）から人見街道（都道110号）までの区間であり、平成12年度に完了した人見街道から三鷹都市計画道路3・2・2号（東八道路）を南北に結び、周辺の生活道路に侵入している通過交通を分散し、交通渋滞の緩和と安全性を高めることを目的としている。引き続き用地買収を進めるとともに、事業の進捗状況にあわせて延焼遮断や避難路の確保による防災震災対策、安全で快適な歩行空間の確保及び都市景観の向上等の目的のために、道路の詳細設計及び電線類地中化に向けて関係機関と協議を行う。</p> <p>【事業量】 ・用地買収予定面積（544.18㎡）</p>														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	用地買収		
	事業の成果（目標）	・用地取得率 84.8%（3・4・13号）														
中間評価	上半期の実績・課題等	用地交渉に進捗のあった2件について物件調査を行い、今年度中に取得する予定（計18.77㎡）である。その他、補助事業の事業費（基本額150,000千円）に応じて土地開発公社からの買い戻し（480㎡）を行う予定である。														
	事業評価審査会特記意見					政策会議 評価・意見等				重点的に取り組む課題とする。						
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする											
事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・用地買収3件（478.76㎡） ・物件補償2件 														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	用地買収		
	事業の成果（実績）	・用地取得率83.90%														
	事業の総括（主管課）	用地買収、土地開発公社からの買い戻しを行った。当初計画の用地取得率目標より若干低めの用地取得率となったが、概ね計画通り用地取得を行った。														
	事業評価審査会評価・意見等					予算執行	26年度実績		27年度6月補正		27年度実績					
						予算額	218,797千円		213,045千円		213,045千円					
					決算額	182,406千円				162,823千円						
					執行率（%）	83.4%				76.4%						
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）												

平成27年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	都市計画道路整備の促進（3・4・7号（連雀通り））	個別事業 掲載No	都 — 11②
-----	---------------------------	--------------	---------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 三鷹都市計画道路3・4・7号（連雀通り）は、平成21年4月に東京都と「新みちづくり・まちづくりパートナー事業」の協定を結び、八幡前交差点～下連雀七丁目交差点間約235mについて事業を進めている。引き続き用地買収を進めるとともに、都市防災機能の向上、安全で快適な歩行空間の確保及び都市景観の向上等の目的のために、電線類の地中化に向けた取り組みを実施していく。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電線共同溝詳細設計 道路整備に向けた市民向け全体説明会の開催 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<p>● 電線共同溝詳細設計</p> <p>● 道路整備に向けた市民向け全体説明会</p> <p>・電線共同溝詳細設計図書の作成</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>東京都との年度協定締結、事業スケジュールの調整などのほか、電線共同溝詳細設計に向けた事前準備、買収用地の管理等のほか、NTT支障移設について関係機関等との調整を行った。</p> <p>今後、電線共同溝詳細設計の具体的な作業を進めるとともに、その際の障害となっているボックスカルバートの撤去方法及び範囲の明確化を行うとともに、暫定整備区間の明確化と引き渡しについて協議を進める。</p> <p>また、来年度買収予定地については、郵便局の移転スケジュールにより工程に大きな影響を与える可能性があることが課題となっている。</p>										
	事業評価審査会特記意見		政策会議 評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。								
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする							

事後評価	実績	<p>電線共同溝の詳細設計と東京都の都市計画事業区間との調整に取り組むとともに、警視庁との道路線形に係る協議を完了させた。また、その中で地下埋設物の工事に先立って行う必要があるボックスカルバートの撤去工事に向けた調整及びNTTの支障移設に向けた調整を行った。</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（実績）	<p>● 電線共同溝詳細設計</p>											
	事業の総括（主管課）	<p>電線共同溝の詳細設計を行った。また、東京都の都市計画道路事業の区間との調整や、警視庁との道路線形に係る協議に取り組んだ。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等		予算執行		26年度実績	27年度6月補正	27年度実績						
				予算額	442,562千円	31,800千円	31,800千円						
				決算額	58,610千円		18,250千円						
				執行率（%）	13.2%		57.4%						
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）									

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	花と緑のまちづくりの推進	個別事業掲載No	都 — 12
-----	--------------	----------	--------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 緑と水の公園都市の実現に向けて、「緑と水の基本計画2022」の改定、大沢の里第2期整備工事や都市公園等の用地取得を進めるとともに、「まちなかグリーンベルト」事業に取り組む。また、NPO法人花と緑のまち三鷹創造協会が行うガーデニング講座など各種事業への支援を行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「緑と水の基本計画2022」の改定 ・花と緑のまち三鷹創造協会への支援（ガーデニング講座ほか各種講座、ガーデニングフェスタの開催） ・用地取得：新川あおやぎ公園用地取得、大沢青少年広場等用地取得 ・公園等改修：三鷹台児童遊園改修、上連雀のぞみ児童遊園遊具改修ほか ・大沢の里第2期整備工事 ・「まちなかグリーンベルト」事業 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<p>「緑と水の公園都市にふさわしい花と緑のまちづくりの推進（「緑と水の基本計画2022」の改定、協会主催講座の実施、ガーデニングフェスタの実施、公園用地の取得、公園改修工事等の実施、大沢の里公園整備工事の実施、「まちなかグリーンベルト」事業の取り組み）</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>花と緑のまち三鷹創造協会と連携しながら協働のまちづくり事業をすすめ、6月に「花のまち交流会」を開催した。今後もより一層多くの市民が、花や緑の活動に参加できる事業の展開に努める。また公園の公有地化に向けた用地の取得や都市公園及び児童遊園の整備・改修について、引き続き取り組んでいくとともに、「緑と水の基本計画2022」の改定については、「第4次三鷹市基本計画」並びに「土地利用総合計画2022」など各個別計画とも整合を図りながら見直しを進めていく必要がある。</p>											
	事業評価審査会特記意見	<p>評価を踏まえて事業化を図る。</p>											
	政策会議評価・意見等	<p>評価を踏まえて事業化を図る。</p>											

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする
-------	---	-----------	---	--

事後評価	実績	<p>・花のまち交流会（平成27年6月13日：さんさん館多目的会議室）を実施した。・ガーデニングフェスタ2015（平成27年9月26日：市役所中庭）を実施した。・新川あおやぎ公園及び大沢青少年広場の用地について、三鷹市土地開発公社から買い戻しを行った。・新川谷端児童公園において施設改修工事を行うとともに、新川児童公園、下連雀児童公園及び上連雀中央児童遊園等において遊具改修工事を行った。・大沢の里整備事業については、第2期整備工事を実施した。・「まちなかグリーンベルト」事業については、新川宿ふれあい通り周辺をモデル地区として、整備に向けた検討を行った。</p>																										
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月															
	事業の成果（実績）	<p>・花のまち交流会では100名以上の市民参加があった。</p> <p>・ガーデニングフェスタ2015では、過去最多となる135点の応募作があり、また、平成27年9月26日には約1,450名の来場者でにぎわい、市民の交流が図られた。</p> <p>・新川あおやぎ公園及び大沢青少年広場の用地について、三鷹市土地開発公社より買戻しを行い、公園の公有地化を進めた。</p> <p>・新川谷端児童公園における改修工事や、新川児童公園や下連雀児童公園及び上連雀中央児童遊園等における遊具改修工事を実施した。</p> <p>・大沢の里整備事業については、第2期整備工事として、既設の木道の改修及びベンチ等休憩施設の整備に関する工事を行った。</p> <p>・「まちなかグリーンベルト」事業については、新川宿ふれあい通りをモデル地区として、市民との協働により、まち歩きやワークショップを行いながら整備候補地について検討を行った。</p>																										
	事業の総括（主管課）	<p>公園用地の公有地化により、借地公園等が永続的に確保されるとともに老朽化した公園施設の改修により、誰もが安全に安心して利用できる公園づくりを推進した。また、ガーデニングフェスタ2015の開催など、NPO法人花と緑のまち三鷹創造協会との協働の取り組みにより、緑の保全や緑化を推進する意識啓発、地域コミュニティの拡充が図られた。</p>																										
	事業評価審査会評価・意見等	予算執行	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>26年度実績</td> <td>27年度6月補正</td> <td>27年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>472,002千円</td> <td>412,327千円</td> <td>413,083千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>436,625千円</td> <td></td> <td>406,100千円</td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td> <td>92.5%</td> <td></td> <td>98.3%</td> </tr> </table>												26年度実績	27年度6月補正	27年度実績	予算額	472,002千円	412,327千円	413,083千円	決算額	436,625千円		406,100千円	執行率（%）	92.5%	
	26年度実績	27年度6月補正	27年度実績																									
予算額	472,002千円	412,327千円	413,083千円																									
決算額	436,625千円		406,100千円																									
執行率（%）	92.5%		98.3%																									

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）
-------	---	-----------	---	--

平成27年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の推進	個別事業 掲載No	都 — 13
-----	----------------------	--------------	--------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 東京都の「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」（平成23年4月施行）により、平成24年6月に三鷹通りと東八道路の一部が特定緊急輸送道路に指定され、沿道の建築物の所有者に対し耐震診断の実施が義務付けられ、設計及び改修も努力義務となったため、耐震診断助成及び設計、改修助成を行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成内容 耐震診断：国及び都が全額負担、設計及び改修：国及び都費（2/3）、市（1/6）負担。 ・対象建築物 23件（①特定緊急輸送道路に接道、②昭和56年5月31日以前に建築、③道路幅員の約1/2以上の高さ、以上3項目全て該当するもの） <p>なお、耐震診断助成及び設計助成は平成26年度、改修助成は平成27年度までの時限措置。</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	●	診断・設計申請受付及び着手						完了届受理 支払手続終了					
	●	改修工事申請受付及び着手						竣工届受理 支払、継続手続					
事業の成果（目標）	・耐震診断3件、耐震補強設計2件、耐震改修工事3件の完了												

中間評価	上半期の実績・課題等	耐震診断5件、補強設計3件及び耐震改修工事2件の着手があり、年度内に完了する見込みである。この結果、実施が義務付けられている耐震診断については、未実施が2件となった。この2件については、年度内実施に向けて調整を重ねている。また、社会資本整備総合交付金（国補助金）の今年度の内示率がおおむね45%と低くなっており、次年度の動向も不透明であることが課題である。										
	事業評価審査会特記意見	政策会議 評価・意見等										
	主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする							

事後評価	実績	耐震診断5件、耐震補強設計3件、耐震改修工事2件の完了													
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	●	耐震診断の完了・5件						●	●						
	△	耐震補強設計の完了・3件											△	△	△
	○	耐震改修工事の完了・2件											○	○	
	事業の成果（実績）	耐震診断5件、耐震補強設計3件、耐震改修2件が完了。 （全体対象物件23棟のうち、平成27年度末までに、耐震診断21件（うち耐震補強が必要な物件19件）、耐震補強設計7件、耐震改修工事4件が完了。）													
事業の総括（主管課）	当初計画と比較して、耐震改修工事1件が未達成になったものの、耐震診断2件、耐震補強設計1件について、当初の目標を上回ることができた。このことにより、耐震化の推進が図られた。														
事業評価審査会評価・意見等					予算執行	26年度実績			27年度6月補正		27年度実績				
					予算額	481,015千円			489,322千円		487,299千円				
					決算額	192,077千円					191,984千円				
					執行率（%）	39.9%					39.4%				
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）											